

「IZUMI未来構想フェスティバル～にぎわい続けるまちのために～」 (主催：一般社団法人 泉青年会議所) における人権啓発活動

令和6年5月11日（土）一般社団法人泉青年会議所が主催した「IZUMI未来構想フェスティバル～にぎわい続けるまちのために～」のイベント会場において、人権啓発活動を実施しました。イベントの主催者は、持続可能な地域の未来を思い描いてもらうこと等を目的とし、その目的を達成するには、人権尊重の意識が重要であるとの考えの基で、このイベントは開催されています。

仙台法務局、仙台人権擁護委員協議会では、このイベントにおいて人権尊重の重要性を訴えるため、人権啓発活動を実施しました。

会場のひとつ「泉中央ペDESTリアンデッキ」では、各種の人権侵害の解決のための相談窓口の案内リーフレットや、インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口の案内リーフレットを配布し、参加者に人権尊重の大切さについて呼びかけを行うとともに、じんけん自己診断を行い、人権への理解を深めてもらいました。



もう一つの会場「i s Me! おへそ広場」では、第42回全国中学生人権作文コンテスト宮城県大会においてベガルタ仙台賞を受賞された、南三陸町立志津川中学校 高橋 夢葉さんの作文「いじめのない世の中になるために」の人権擁護委員による朗読発表を行い、いじめの防止のため人権啓発を行いました。



また、同会場「i s Me! おへそ広場」のフィナーレでは、イベント主催者の代表である一般社団法人泉青年会議所理事長が「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するために、その決意を示し地域企業・団体の人権に関する取組を促すため、「Myじんけん宣言」を行いました。そして、その「Myじんけん宣言」は、仙台北法務局人権擁護部長に提出されました。



↑ 一般社団法人泉青年会議所理事長によるMyじんけん宣言

※泉青年会議所理事長によるMyじんけん宣言は、(公益財団法人)人権教育啓発推進センターの「Myじんけん宣言」特設サイト(<https://www.jinken-library.jp/my-jinken/>)に掲載されています。